

韓国・百済（くだら）歴史遺跡地区が世界遺産に登録

2015年7月4日、ユネスコの世界遺産委員会は、韓国の『百済歴史遺跡地区』を世界文化遺産に登録することを決定いたしました。

百済歴史遺跡地区は百済の古都のうち、百済後期にあたる忠清南道の公州・扶余、及び全羅北道・益山に当たる8遺跡で、百済前期の漢城(現ソウル)時代の文化遺産は除かれました。

今回の登録にあたって世界遺産委員会は、『百済歴史遺跡地区は、韓国や中国、日本など東アジア古代王国の相互交流史をよく表している。』とし、『文化交流にともなう建築技術の発展と仏教拡散が如実に表している』と評価しています。

■百済歴史遺産地区(計8か所)

公州(コンジュ) 公山城、松山里古墳群(武寧王陵を含む)
扶余(プヨ) 扶蘇山城(官北里遺跡)、定林寺跡、陵山里古墳群、羅城
益山(イクサン) 王宮里遺跡、弥勒寺跡

扶余・公州・益山ってどこ？何があるの？

～百済の面影を尋ねる～

ソウルから車で南へ約2時間30分。韓国・三国時代の一国として古代より日本と関係の深かった百済。

当時の建造物はほとんど残されていませんが、その面影を残すのがかつて百済の都があった、公州と扶余です。

韓国のほぼ中央ソウルと釜山の間地点にあります。

地形を生かした山城跡から望む風景は、どこか懐かしい、韓国の原風景を思い起こしてくれます。



日韓国交正常化50周年



扶蘇山城・落花岩(扶余)

公州・扶余・益山



韓国・台湾・東南アジア専門 ランドオペレーター



ハンドメイドツアー

OTOA 正会員 NO.335

株式会社 HMC 東京都知事登録旅行業第 3-3609 号

TEL.03-3831-4295/FAX. 03-5812-7085

〒110-0016 東京都台東区台東 4-30-8 宮地ビル本館7F
営業時間 月～金 9:30～18:30 (土日祝休業)

ホームページ <http://www.handmadetour.jp/>